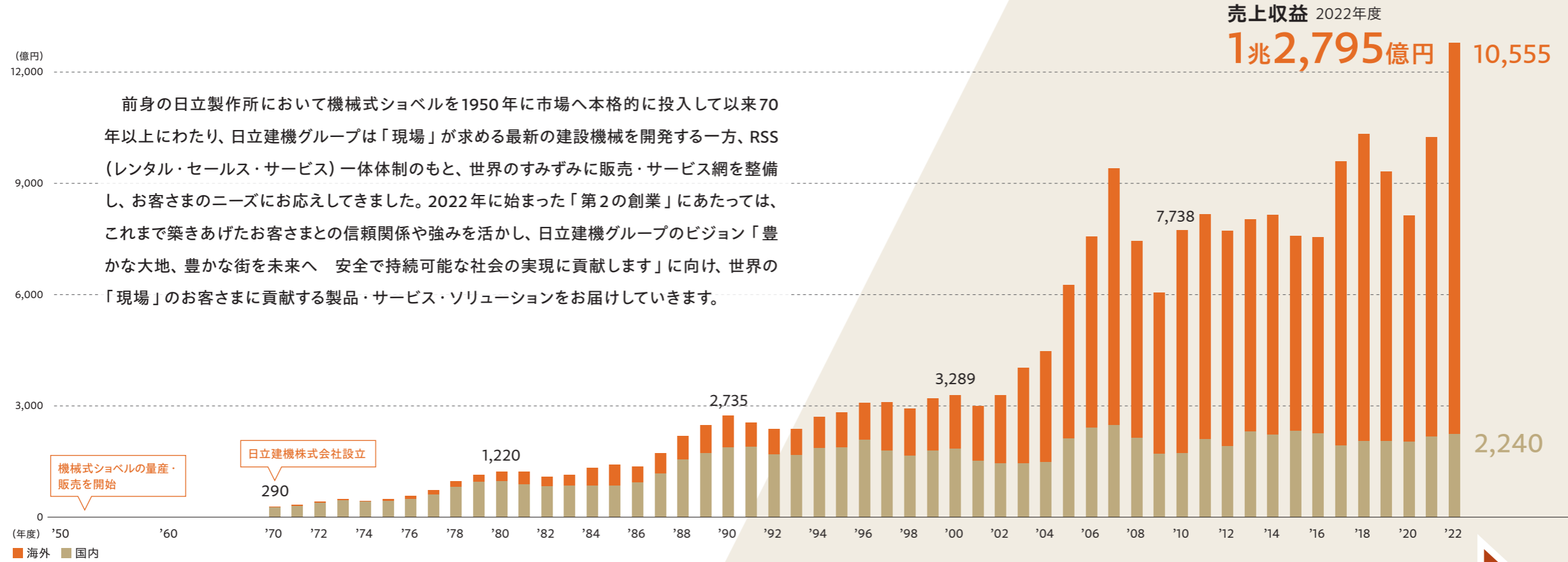


## 日立建機グループのあゆみ



前身の日立製作所において機械式ショベルを1950年に市場へ本格的に投入して以来70年以上にわたり、日立建機グループは「現場」が求める最新の建設機械を開発する一方、RSS（レンタル・セールス・サービス）一体体制のもと、世界のおもむき通りに販売・サービス網を整備し、お客さまのニーズにお応えしてきました。2022年に始まった「第2の創業」にあたっては、これまで築きあげたお客さまとの信頼関係や強みを活かし、日立建機グループのビジョン「豊かな大地、豊かな街を未来へ 安全で持続可能な社会の実現に貢献します」に向け、世界の「現場」のお客さまに貢献する製品・サービス・ソリューションをお届けしていきます。

### 1949年

日立製作所亀工場で、戦後の復興と社会資本整備に向けた純国産技術による機械式ショベル「U05」が誕生しました。翌1950年、U05をモデルチェンジした「U06」の本格生産を開始し、日立建機の歴史が始まりました。



### 1965年

純国産技術による国内初の油圧ショベル「UH03」を製品化。主流であった1ポンプ1コントロールバルブ方式に対し、自社技術開発の2ポンプ2コントロールバルブ方式の油圧システムにより操作性を飛躍的に向上させました。UH03は、東名高速道路の建設などで活躍し、日本の高度経済成長を支えました。

### 1986年

電子制御導入の新世代油圧ショベル「Landy EXシリーズ」発売



### 1997年

世界最大級の超大型油圧ショベル「EX5500」完成



### 2000年

他社に先駆けて世界初の衛星通信機能を搭載した油圧ショベル「ZAXISシリーズ」を発売しました。衛星通信機能を搭載することで、稼働情報を遠隔にて収集できるため、お客さまの業務の効率化に貢献しました。



### 2013年

お客さまの機械を見守るサービスソリューションメニュー「ConSite」の提供開始



### 2016年

ICT油圧ショベル「ZX200X-5B」発売



2022年～  
**第2の創業期**